

受験される方へ

面接・実技等について

ビジネス実務学科

- 面接について（※AO入学試験を除く）
 - ・面接の中で、学科及び各コースの適性を見ていきます。
 - ・グループ面接で1グループ30分程度、または個人面接で15分程度行います。

美術学科

- 面接について（※AO入学試験を除く）
 - ・少人数での面接。「自作作品持込」の受験方法以外でも面接時にこれまで制作した作品を提示することができます。（この場合面接の参考としますが、点数化はしません。）
 - ・その他、自己PRできるものがあれば提示することができます。
- 実技について（120分）
 - ・「鉛筆デッサン」または「鉛筆イラスト」のいずれかを選択します。いずれも試験時に画用紙かケント紙を選ぶことができます。
 - ・必要な用具は本学で用意いたしますが、**鉛筆（HB～5B程度）**と**ねり消しゴムはお持ちください**。（比率や構図などを確認する補助用具などは使用可とします。）

幼児教育学科

- 面接について
 - ・簡単な手足の動きや発声（歌唱・文章読み等）を含みます。事前準備は特に必要はありません。
 - ・グループ面接で、1グループ30分程度です。
 - ・面接内で身体表現などを行いますので、**上履き用シューズをお持ちください**。

自作作品持込について

- ・試験日当日にお持ちください。面接時に作品を確認します。
※採点のため、自作作品の写真を撮らせていただきます。
- 〈作品内容〉
 - ・絵画作品（水彩画、油画、日本画など）
 - ・デザイン作品（ポスター、イラストレーション、写真、ファッションデザイン、CG作品など）
 - ・創作作品（ストーリーマンガ、4コママンガ、絵本など）
 - ・基礎作品（デッサン、淡彩など）
 - ・立体作品（彫塑、工芸、プロダクト作品など）
 - ・映像作品（アニメーション、プロモーションビデオなど）
 - ・その他、美術作品全般
- ※データ（USB）での持ち込みは可としますが、データを開くための特定のプログラムが必要となる場合は、事前に入試広報部までお問い合わせください。
- ※作品が大きい場合は、写真（プリントアウト、タブレット等）での持ち込みも認めています。

受験上の配慮について（障がいがある受験者の方へ）

本学では、障がいがある受験者が可能な限り適切な環境で受験できるよう、試験の公平性を確保できる範囲で配慮します。配慮の内容は障がいの種類や程度により異なりますが、試験時間の延長、車椅子での受験などが可能です。**このような配慮が必要な方は、できる限り早い時期に入試広報部までご相談ください（出願書類提出の2週間前までには必ずご相談ください）**。障がいの状況を確認の上、配慮可能な方法を検討します。また、入学後の学習や学生生活についても配慮が必要な場合は、必ずご相談ください。

■受験上の主な配慮事項

- 受験上の配慮について、主な配慮事項は以下のとおりです。
これらの配慮事項は、障がい等の種類や程度にかかわらず、必要に応じてご相談ください。
- 〈試験室や座席に関する配慮〉
 - ・座席を試験室の出入り口に近いところに指定
 - ・別室の設定
 - ・一時休養を申し出た場合に備え、試験室近くに一時休養場所を用意
 - 〈持参して使用するものに関する配慮〉
 - ・補聴器の使用
 - ・音声拡張器の使用
 - 〈その他の配慮〉
 - ・飲み薬の服用

以上のような配慮、それ以外の配慮が必要な場合は、ご相談ください。